

令和7年3月6日

連続講演「讃岐の海と里をめぐる窒素」第6回

「水稻の畑地状態での地下点滴灌がい栽培による温室効果ガス排出量削減の取り組み」を開催

3月12日（水）、香川大学幸町キャンパスにて表題のセミナーを開催します。

作物の生産現場から排出される主要な温室効果ガスは窒素肥料に由来する亜酸化窒素と水稻栽培で排出されるメタンですが、水稻を畑地状態で点滴灌がい栽培すると酸化的土壌環境のためメタン排出量を削減できます。畑地状態での地下点滴灌がいと水田での湛水栽培で水稻を栽培し、それぞれの温室効果ガス排出量と水稻の収量および品質を調査した結果を中心に、本栽培法によるコメの生産コスト削減や輸入依存度の高い畑作物との輪作体系の利点について報告します。

※前日3月11日（火）17時～18時30分に開催予定の関連セミナー「種子から見た循環する生命：タネ採り農家の実践と声」（河合史子准教授）にもぜひご参加ください。

（申込：<https://forms.office.com/r/ZwnKWe65kR>）

つきましては、是非取材くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

名称：「水稻の畑地状態での地下点滴灌がい栽培による温室効果ガス排出量削減の取り組み」

日時：2025年3月12日（水）17時～18時30分

会場：ICEDS ルーム（香川大学幸町キャンパス北2号館2F）+ Zoomによるハイフレックス開催
（希望者は、後日動画視聴も可能）

講演：豊田正範教授（農学部）

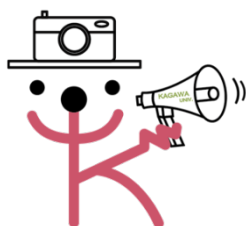
主催：香川大学地球ディベロプメントサイエンス国際コンソーシアム（ICEDS）

詳細リンク：<https://www.iceds.net/j/gcs58/>

参加申し込みは以下のリンクまたはQRコードからお願いします。

<https://forms.office.com/r/fw6BCCd1mM>（当日正午〆切）

※本セミナーは、GCS58（第58回ジオコミュニケーションセミナー）として開催され、科研B(20H01523)/同(23H01661)、JSPS Core-to-Core Program、JSPS/MESS Bilateral Program、香川大学学長戦略経費「讃岐・瀬戸内発の水・物質循環デザイン研究の国際拠点形成プロジェクト」「SDGs推進人材育成プロジェクト」の支援を受けています。



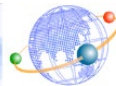
➤ お問い合わせ先

香川大学教育学部教授 寺尾徹

E-mail: terao.toru@kagawa-u.ac.jp

JSPS

Core-to-Core Program





3/12

17:00-18:30

連続講演「讃岐の海と里をめぐる窒素」第6回

水稻の畑地状態での地下点滴灌がい栽培による 温室効果ガス排出量削減の取り組み

作物の生産現場から排出される主要な温室効果ガスは窒素肥料に由来する亜酸化窒素と水稻栽培で排出されるメタンですが、水稻を畑地状態で点滴灌がい栽培すると酸化的土壌環境のためメタン排出量を削減できます。畑地状態での地下点滴灌がいと水田での湛水栽培で水稻を栽培し、それぞれの温室効果ガス排出量と水稻の収量および品質を調査した結果を中心に、本栽培法によるコメの生産コスト削減や輸入依存度の高い畑作物との輪作体系の利点について報告します。

講演：豊田正範教授（農学部）

日時：2025年3月12日（水）17:00～18:30

場所：ICEDSルーム（香川大学幸町キャンパス北2号館2F）

+ Zoom（希望者は、後日動画視聴も可能）

申込：<https://forms.office.com/r/fW6BCCd1mM>（当日正午〆切）

詳細ページ（<https://www.iceds.net/j/gcs58/>）

香川大学ICEDS主催（<https://www.iceds.net/j/>）

質問：terao.toru@kagawa-u.ac.jp



↑申込はこちら

前日開催

種子から見た循環する生命 タネ採り農家の実践と声

講演：河合 史子准教授（教育部） 日時：3/11 17:00-18:30

詳細ページ（<https://www.iceds.net/j/gcs56/>）



↑申込はこちら

